

令和2年度 学校・家庭・地域連携サポート事業

# 地域学校協働活動南会津地区研修会

日 時：令和2年8月21日（金）13：00～  
 会 場：南会津町 御蔵入交流館 多目的ホール

## 「地域学校協働活動～大戸地区の立ち上げから現在に至るまで～」

講師 大戸公民館長 杉原 卓也 氏  
 大戸地区学校協働活動コーディネーター 白岩 勉 氏

### 【参加者の声】

○立ち上げ3年目という  
 ことで、これから事業  
 を立ち上げようとして

いる地域にとってイメージしやすかった。

○地域コーディネーターの存在は大きい。学校に担当教職員は  
 いても地域の窓口になるひとがないのが現状。今後、本部  
 設置をお願いしていきたい。

○大戸地区の学校と地域が一体となって活動している様子で、  
 大変興味を持ちました。密な連携が大切だと思いました。

○興味深く話を聞かせていただきました。学校と地域、双方向  
 のよりよい関係づくりが今後一層重要になってくると感じて  
 います。

○今後、どの地域においても少子化が進むことが考えられ、地  
 域学校協働が大きな役割を果たすことになると思う。



## 講話「気になる子供との接し方～見方・かかわり方を変えて見よう～」

### 【参加者の声】

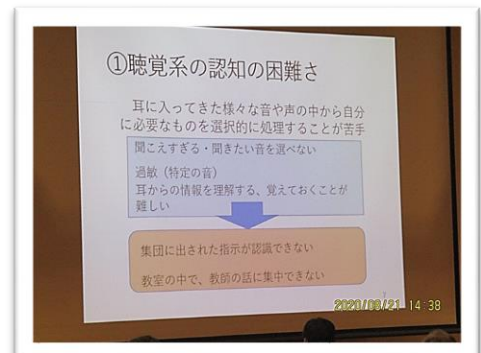
○“困った子”ではなく“困っている子”という  
 見方。その困難さを軽減するための支援の  
 方法について理解できました。

○子供が“できない”のではなく“指示の伝え  
 方”を考え直す。普段から意識していき  
 たいと思いました。

○具体的な支援の仕方が参考になりました。もっと聞きたかったです。



南会津教育事務所  
 指導主事 佐藤 智



## 演習：「明日から活動に活かせるダンボール織りに挑戦しよう」

講師：三島町社会教育委員 渡部 和 氏

ダンボールと割り箸で  
コースターづくり！？



### 【参加者の声】

- 身近にある物だけで織り物ができることを知ることができました。不器用な私でも短時間で完成させることができました。
- 童心にかえて無心に織っていた。中学校でも文化祭や特別支援などで活用できると思いました。
- 久しぶりに本当に楽しかったです。子どもと一緒にやりたいです。



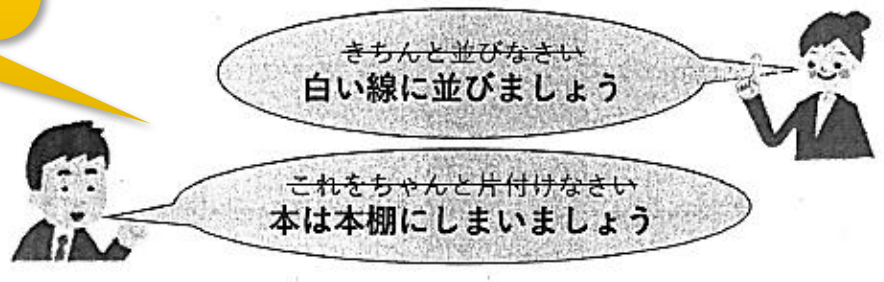
## 子どもに伝わっていますか？

このような配慮を必要とする  
児童生徒が増えています。  
「見方・かかわり方」を変えて  
いくことが求められている  
のですね。

### ○指示の出し方

- ・こそあどことば
- ・あいまいな表現

「気になる子供との接し方」より



研修会を終えて…

地域学校協働活動における窓口となる「地域コーディネーター」の必要性の高まりを感じました。少子化の進む現代において、“子供たちは宝”です。地域の一員として大切に育てていくためにも地域の力は不可欠になっています。学校の声かけで集まってくれるボランティアによる支援活動で凌げるのもいつまでか…。地域学校協働本部設置やコーディネーターの配置は容易なことではありませんが、これからの地域を支える仕組みになると思います。今回の大戸公民館長、コーディネーターさんのお話は、設立に向けて大変参考になったのではないのでしょうか。